

# かがやき



富士市立東小学校  
学校便り  
3月号

## 【どきわくの読み聞かせ】

2月8日(木)に今年度最後のどきわくの皆様による読み聞かせがありました。今回は、劇を取り入れたわらしべ長者の話でした。子供たちは「実写版」と表現していました。楽しいしかけが多くあり、どの子も楽しそうでした。今年は、読み聞かせ後に感想等を伝え合う活動を行っていたので、感想にも多くの手が挙がりました。今年度も子供たちに多くのどきどきわくわくする機会をいただき、ありがとうございました。今後もよろしくお願ひいたします。



## 【小中一貫教育】

来年度から富士市が推進している小中一貫教育がいよいよ本格実施となります。須津中学区は『施設分離型』なので、本校の教育活動は特に大きく変わることはありません。これまでの数年間に、須津小・須津中と三校で多くの合同研修会を実施してきました。

まずは、教職員が小中一貫教育を実施するために必要な準備を進めてきました。中学校に入って戸惑う子供たちの生活の大きな変化を少しでも減らすことを考え、授業、決まり事、子供たちに付けたい力等について考え、話し合ってきました。以前からつながっていた特別活動の部分は須津中学区の大きな特徴です。今年も12月にリモートで絆づくりの集会を実施しました。また、昨年度から6年生対象にSCから中学校生活の講話、「教えて先輩」という中学生が質問に答える形での交流会などを実施しています。

それから、子供たちの学習についても協議を重ねています。『夢中になって学ぶ』というのが三校の目指す授業の姿ですが、授業を楽しむために学習内容を定着させることが必要です。そこで、家庭学習の習慣づけに重点が置かれ、今までそれぞれの学校で行っていた自主勉強を『チャレンジノート』と揃えることにしました。低学年では宿題の形で実施し、家で学習に取り組む習慣づけと基礎的・基本的な学習をきちんと身に付けることが一番の目的です。教科書を読む、計算の練習、平仮名から漢字までの文字を獲得することなどを通して、学習習慣を身に付けるのです。そして高学年のチャレンジノートでは、自分の興味・知識を広げたり、得意を伸ばしたりする内容も含まれます。

これには各ご家庭の支援や協力が必要で、毎年学年初めの学級懇談会で説明をしています。また、授業については毎年教員が参観と協議を重ねています。今年度は子供たちの強みを伸ばし、弱みを補強するための授業づくりについて話し合いました。その内容を来年度から実施し、子供たちの力を伸ばしていきたいと思ひます。三校で「たくましい子」を目指し、教育課程を工夫し、今後も研修会を継続していきます。

**【PTA 新聞「はるやま」】**校長室に寄贈されている創刊号から50号までの冊子の表紙→

今から50年前の昭和48年(1973年)7月25日に創刊したPTA新聞「はるやま」ですが、今年度156号を発行し、現在157号の準備を進めているところです。こここのところの児童数の減少、共働き世帯の増加に伴い、発行がだんだん難しくなってきました。そこで、PTA役員で協議した結果、この157号の発行後【CSだより「はるやま」】としてリニューアルします。この歴史と伝統を受け継ぎ、令和6年度より、その息吹をCSだよりに引き継ぎます。皆様に学校、PTA、地域のこともお届けしたいです。楽しみにしてください。



**東小の子供たちは浮島地区の皆さんと一緒に育てていきます。**  
(東小は、地域とともにある学校づくりを進めていきます。)

